

医療安全管理

患者と医療者が協働する医療

院内感染対策

医療事故事例から学ぶ～針刺しおよび血液・体液曝露防止について～

2007年の医療法改正で、医療機関で働くすべての職員の研修が義務化されました。保健所の立入検査では、各種研修記録が求められます。

今回の医療安全管理は、医療現場で重要なインホームド・コンセントと患者とのコミュニケーションにより、患者と医療者が協働し、信頼関係を築きながら医療を行うためにはどうしたらよいか解説します。

院内感染対策は、医療事故の事例から、針刺し事故などによる感染リスクを減らすための対策を、皆さんとっしょに考えたいと思います。

貴院の院内研修にお役立ていただき、保健所の立入検査に備えていただければ幸いです。

山形県保険医協会 理事 古沢 信之

動画解説

医療安全管理

山口 育子

認定NPO法人ささえあい医療人権センター
COML (コムル) 理事長

院内感染対策

中島 幸裕

ICD(インфекションコントロールドクター) 認定医
山形県保険医協会 理事長

動画時間

医療安全管理 45分(予定)

院内感染対策 10分(予定)

視聴期間

10月30日(水)▶11月30日(土)

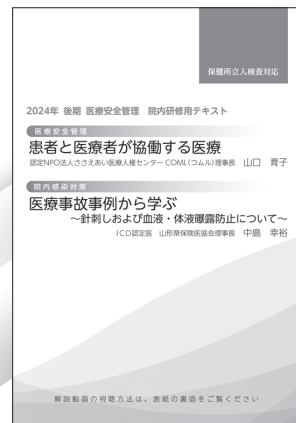
視聴方法

YouTubeによるWeb配信方式

インターネットによる視聴環境をご準備ください
視聴方法、ID、パスワードはテキストに同封します

対象

会員医科・歯科診療所、病院の全ての職員



テキスト、視聴とも
無料です(要申込)

■ テキスト申込書

テキスト、解説動画とも無料です。動画は視聴期間中いつでも何度でもご覧いただけます。

山形県保険医協会/FAX番号:023-642-2839

会員氏名	
医療機関名	
住所	〒
電話番号	(- -)
テキスト申込数	冊

お問い合わせは山形県保険医協会へご連絡ください

〒990-0043 山形市本町2丁目1-2 フコク生命ビル 2F

<https://www.hokeni-yamagata.jp/>